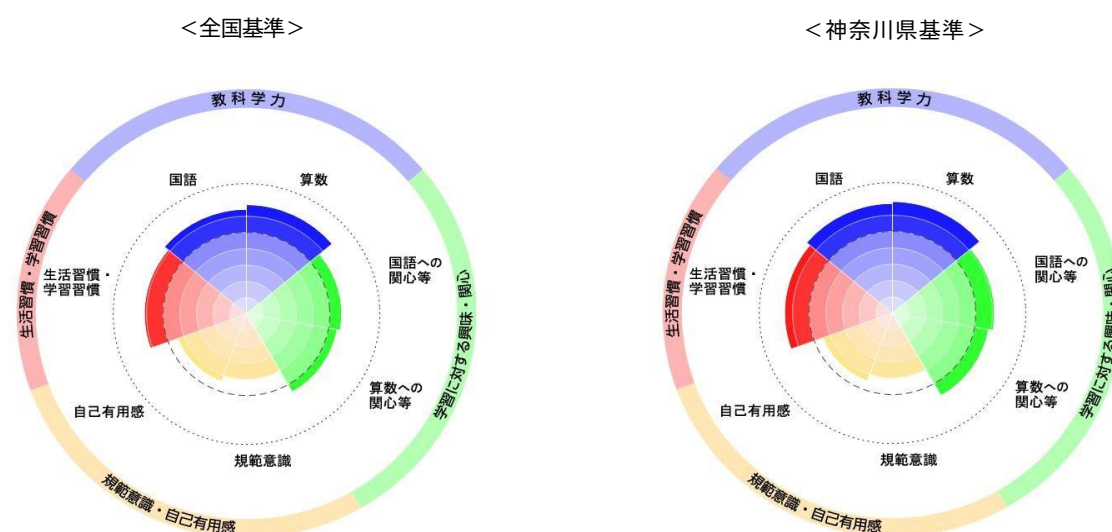


「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果についてのご報告

4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を報告いたします。本校では、この調査結果をもとに、授業改善を重ね、児童の学力を高めていくよう努めてまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解し、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

1 調査結果の概況 ※平均：内側点線円



「教科学力」「学習意欲に対する興味・関心等」「生活意識・学習習慣」については、全観点で全国平均を上回る水準でした。その反面、「規範意識・自己有用感」の低さが目立ちます。

2 学力調査の結果

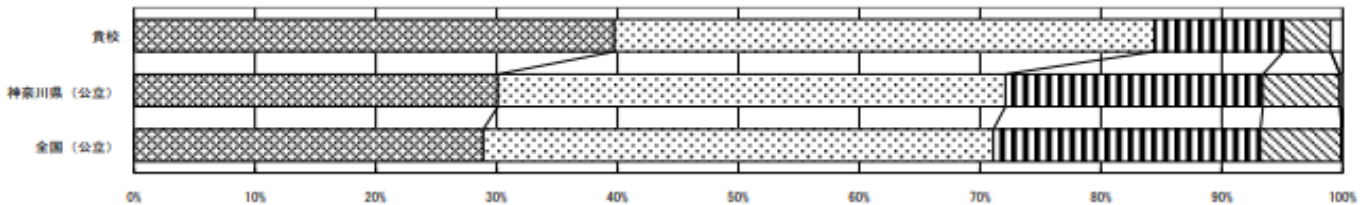
教科	結果
国語	平均正答率 本校：77% 全国（公立）平均：67.2% ・全ての問題において、正答率が全国平均を上回った。 ・「書くこと」の領域で、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力を測る問題の正答率が、他に比べて低かった。
算数	平均正答率 本校：76% 全国（公立）平均：62.5% ・全ての問題において、正答率が全国平均を上回った。 ・「データの活用」の領域で、二つのグラフから見いだした違いを記述する問題の正答率が他に比べて低かった。

3 質問紙調査の結果

【学習面】

質問番号	質問事項										
(49)	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	39.8	44.7	10.7	3.9						0.0	1.0
神奈川県(公立)	30.1	42.0	21.3	6.4						0.0	0.2
全国(公立)	28.9	42.2	22.1	6.7						0.0	0.1

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



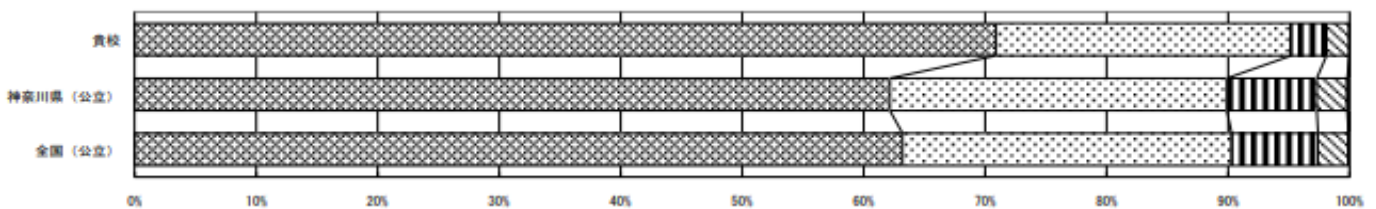
「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか」「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」といった質問では、肯定意見が多数でした。

しかし、学力調査の結果を見ると、自分の考えが伝わるように記述する問題の正答率が、他の問題に比べて高くはありませんでした。目的に応じて情報を整理し、自分の考えが伝わるように工夫して表現する力の向上が求められます。指導にあたっては、人によりよく伝わる文章や資料のまとめ方を具体的に例示し、友達と交流して学び合う目的を明確化しながら学習を進めてまいります。

【生活面】

質問番号	質問事項										
(14)	友達関係に満足していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	70.9	24.3	2.9	1.9						0.0	0.0
神奈川県(公立)	62.1	27.7	7.4	2.5						0.1	0.1
全国(公立)	63.2	27.1	7.1	2.5						0.0	0.1

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



「友達関係に満足していますか」という質問に対して、約95%の児童が「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と答えました。全国のデータと比べても、多くの児童が友達関係に満足していることがわかります。一方で、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」といった質問に「当てはまる」と答えた児童の割合は、全国のデータよりも少ない結果となりました。「自分がよければいい」といった考えではなく、どの人の思いにも寄り添える心を育むことができるよう、日々の指導や関係づくりに努めていきます。

学力面では高い水準にあるものの、上記のような規範意識や、自己有用感に関わる質問では、全国のデータに比べて低い結果となっています。「将来の夢や目標を持っていますか」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童を合わせると全国では約80%であるのに対し、本校は約72%でした。一人一人が自分らしい生き方を考えていけるようなキャリア教育についても、より推進してまいります。